

郷土出身文学者シリーズ②

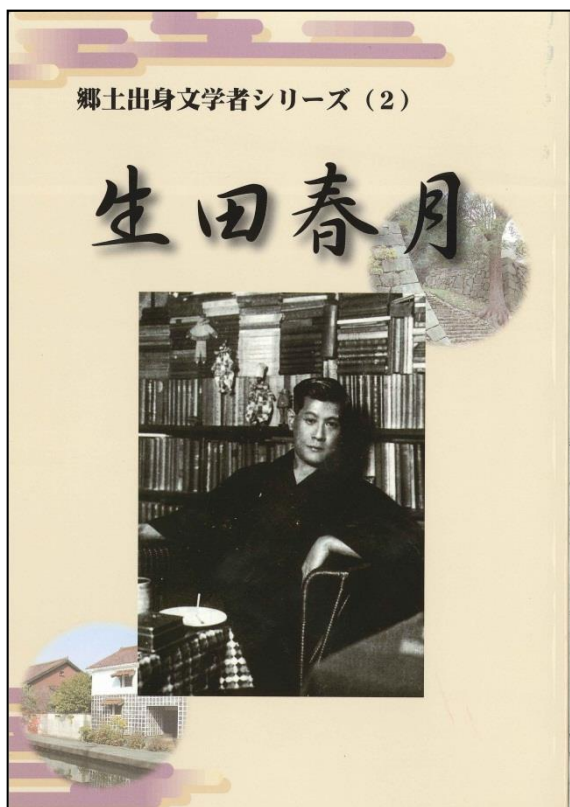
生田 春月

生田春月（1892～1930）は米子町（現米子市）に生まれ、詩人・翻訳家・小説家として主に大正期に活躍しました。小説『相寄る魂』、翻訳『ハイネ詩集』、詩集『靈魂の秋』などがよく知られています。

その春月の生涯や作品を分かりやすく紹介した一冊です。

定価 500円

A5判 65ページ



編集・発行：鳥取県立図書館
〒680-0017 鳥取市尚徳町 101
電話 0857-26-8155
ファクシミリ 0857-22-2996
電子メール toshokan@pref.tottori.jp

内容

第一章 春月の生涯と文学活動

- 一 生田春月と故郷 上田 京子
- 二 恋文 佐藤 恵子
- 三 大正文学における生田春月 武田 信明

第二章 春月に親しむ

大野 秀

春月ゆかりの地案内

生田春月 年譜

販売場所

鳥取県立図書館 2階 郷土資料カウンター
鳥取県庁 本庁舎1階 県民室
八頭県土整備事務所建設総務課
中部総合事務所地域振興局
西部総合事務所地域振興局
日野振興センター日野振興局